



広域広報

おきたま

No.2

平成3年(1991年)

4/15



春です

人といきいき

花といきいき

る めざして

平成3年度の事業と予算

平成三年度の一般会計予算額は 三〇億五千五百万円

置賜広域行政事務組合は、置賜三市五町の行政事務の一部を共同処理する目的で組織され、現在、置賜地域の振興計画の策定と事業の実施、コンピュータ利用による行政事務の共同処理、し尿・ごみ処理施設の設置運営、南陽養護老人ホームの設置運営、死亡獣畜保冷施設の設置運営を行っています。

本組合の平成三年度一般会計歳入歳出予算額は、三〇億五千五百万円です。

歳入面では、分担金及び負担金が二六億六千万円（八七％）で、この額は事業の割合に応じて三市五町で分担されます。使用料及び手数料は、二億三千九百万円（八％）で、その主なものは組合の施設を使用する人が払う使用料などです。残りの一億五千五百万円（五％）は、国や銀行から借り入れる借金（組合債）などです。

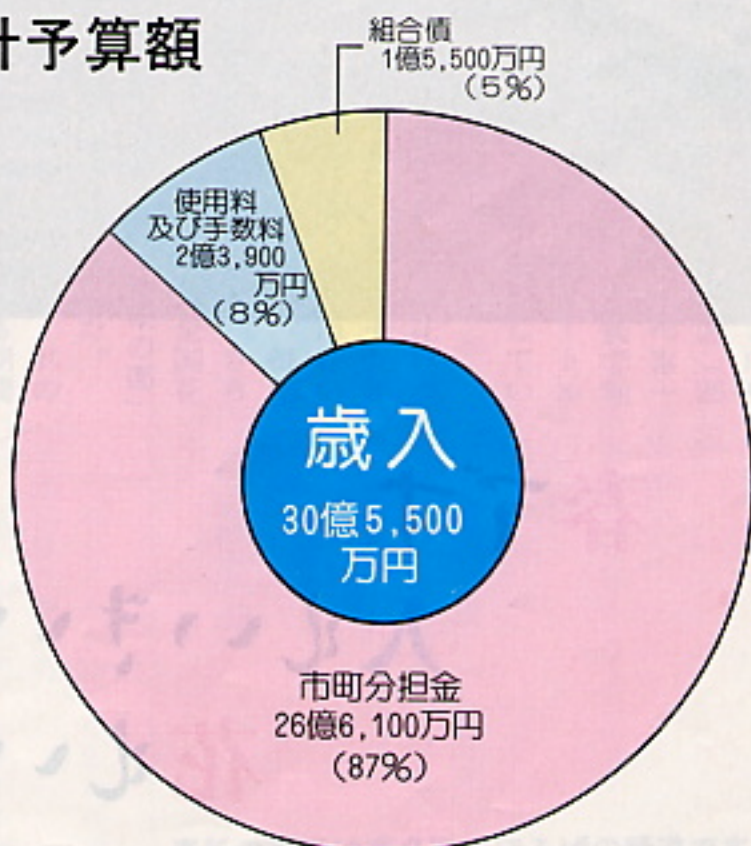
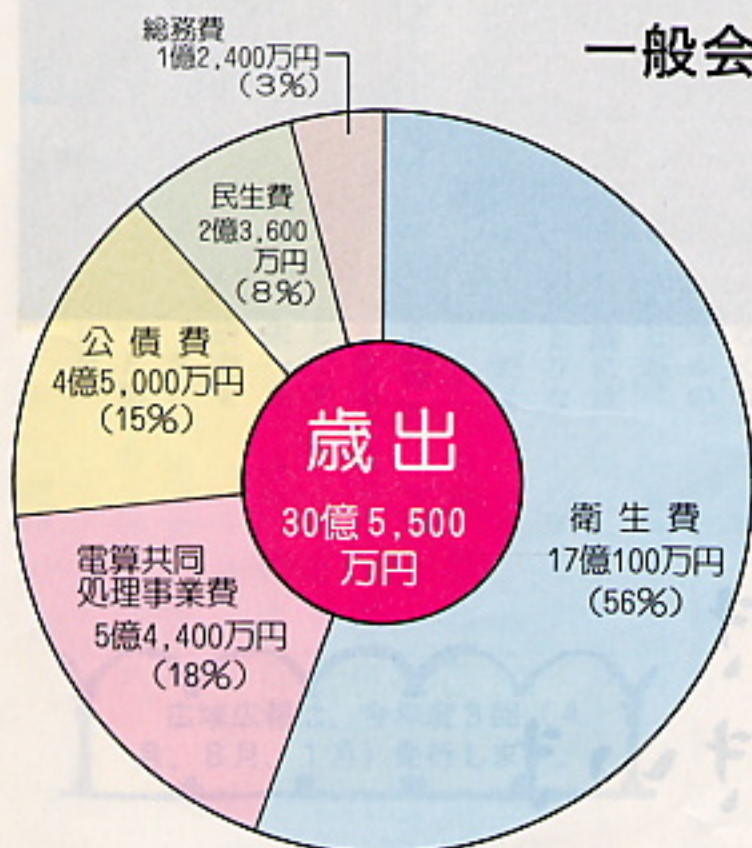
一方、歳出では、ごみ・し尿の処理や死亡獣畜の処理にかかる衛生費が一七億百万円（五六％）、コンピュータ利用による

行政事務の共同処理を行う電算共同処理事業費が五億四千四百万円（一八％）、南陽養護老人ホームの管理運営にかかる民生費が二億三千六百万円（八％）、施設を建設する時に借りた借金（公債費）が四億五千万円（一五％）となっています。



千代田清掃事業所

一般会計予算額



魅力あふれ 置賜を

地域づくり調査隊派遣事業など
特別会計予算額は六千六百万円

置賜広域ふるさと市町村圏特別会計は、ふるさと市町村圏の指定に伴い「置賜広域ふるさと市町村圏広域活動計画」に基づき、本圏域の計画的・一体的な振興整備を図るために設けられたもので、今年度の予算額は六千六百万円です。

広域活動計画は、県と置賜三市五町がお金を出しあい、十億円を基金を設置し、その果実(利子)で「花」と「人材育成」に係るソフト事業を展開するもの

また同計画は、発芽期(平成二、四年度)、開花期(平成五、九年度)、結実期(平成十、十二年度)の三期からなっております。

発芽期にあたる今年度の事業内容は下表のとおりで、置賜地域を花のある美しい地域にするため、その土台づくりである普及啓蒙活動を中心とした事業となっております。



高島町藤野目児童館の子供たち

平成3年度置賜広域ふるさと市町村圏広域活動計画

事業名	事業内容	
花の回廊整備事業	花の回廊整備計画	各市町の主要道路の沿道や観光施設、主要堤防などに花や花木を植栽し、「花の置賜」のイメージを高めるためその基本計画を策定します。
	花の回廊整備助成事業	各市町で花いっぱい運動を展開している団体等へ助成金を交付します。
花の情報発信基地づくり事業	花と地域づくりデータベース構築事業	置賜圏域外に住んでいる置賜出身者を把握してコンピュータに入力しデータベース化するとともに、置賜の観光パンフレットを送付します。
	広域広報の発行	年3回(4月、8月、1月)発行します。
	置賜花と観光パンフレット作成	置賜の主要観光地等をPRしたパンフレットを作成します。
置賜花づくり事業	花活用美しい地域づくり講演会	花を活用して美しい地域をつくるための講演会を開催します。
	花づくり講習会	置賜を花でいっぱいにするため、花づくりに関する講習会を開催します。
	花づくり読本の作成	花づくりが手軽に楽しめるように花づくり読本を作成し、講習会などの際に配布します。
置賜サイン計画	観光案内板の設置	圏域内の主要施設や花の公園等を示す観光案内板を、4市町(米沢市、長井市、川西町、飯豊町)に設置します。
人材育成事業	地域づくり調査隊の派遣	国内の地域づくりの先進地に、圏域内の意欲ある活動家を派遣します。
	花の里先進地視察	花いっぱい運動や花づくりが盛んな地域に、花に関する活動家を派遣します。

平成二年度 広域活動計画で実施した事業



花づくり講習会 (南陽市)

花の回廊整備事業

置賜地域の主な道路や河川等を花でいっぱいにするため、「置賜花の回廊整備基本構想」を策定しました。引き続き平成三年度には、「基本計画」を策定します。

花と地域づくり データベース構築事業

置賜圏域内十三の高校の卒業生名簿から、圏域外に住んでいる置賜出身者をコンピュータに入力し、置賜地域の観光パンフレットや特産品の案内、企業案内などを送付できるようにしました。

置賜花だより事業

広域行政の事業や置賜内各地の情報、そして「花」の情報提供等を行うため、昨年八月、広域広報「おきたま」を創刊しました。

なお、平成三年度からは年三回発行する予定です。

花活用美しい地域づくり講演会

昨年十月二十九日、東京第一ホテル米沢において、財団法人花と緑の博覧会協会出展催事部長の桑村温章氏を招いて講演会を開催しました。



「まち・暮らし・花と緑」と題して行われた講演には、置賜各地から約百名の住民の方々が参加し、講師の「道端に咲いている花は忘れられがちですが、一生懸命咲いているんです。そういう花たちへも目を向けてほしい。そして花のある生活のすばらしさを知ってほしい」という話に熱心に耳を傾けていました。

花づくり講習会

置賜を花のある美しい地域に

するため、置賜六市町において「花壇のデザインから草花管理まで」というテーマで、旧山形県立赤湯園芸高校の鈴木常蔵先生を招いて講習会を開催しました。

これから各地で美しい花壇がたくさん見られることでしょう。

置賜サイン計画

南陽市(国道13号線沿い元中山地内)、高島町(亀岡文殊堂地内)、白鷹町(やな公園内)、小国町(国道113号線沿い横根スキー場内)の四ヶ所に、置賜をPRするため、主要な道路、観光施設、行事日程等を明示した広域観光案内板を設置しました。お近くにおいでの際は御覧下さい。



小国町

花壇を飾る花たち

	一年草	宿根草	球根・その他
春	パンジー、ヤグルマソウ、キンギョソウ	デージー、バーベナ、プリムラ・ポリアンサ、シバザクラ、アルメリア、オダマキ、ナデシコ、ジャーマンアイリス、スターチス、シロタエギク	チューリップ、スイセン、ヒヤシンス、クロッカス、ムスカリ、スノーフレーク
夏・秋	マリーゴールド、ペチュニア、百日草、ケイトウ、サルビア、アゲラタム、キンレンカ、マツバボタン、千日香、日々草、インパチェンス、わい性ダリア	小菊類、ガーベラ、プリトマ、タチアオイ、四季咲きペゴニア	カンナ、グラジオラス、ダリア
冬	葉ぼたん	リボングラス、ヤブラン	アオキ、センリョウ、マサキ、ナンテン、ピラカンサ

花壇草花のつくり方と管理

一、草花の種類

春夏秋冬それぞれの季節を飾る花壇用草花は、主に左表のよ
うな草花たちです。

二、種まきと育苗

● 種まきの時期と温度
一般的に、種をまいてから苗になるまで（植付できるまで）

約70～80日かかります。五月に

花を咲かせるに

は、二月中旬に種

をまかなければ

なりません。ま

た、発芽する温

度は、ほとんど

の草花が20～25

度です。したが

って、当地のよ

うな雪国では、

積雪寒冷のため

苗が育たないの

で、これから種

まきをする場合

は、気温が25度

前後で霜が降ら

ない五月下旬以

降でないとき

ません。それ以

前に種まきをする場合は、苗床をビニール等で覆うか、熱源を

使うなどして、寒さと霜を防ぐ
必要があります。

また、五月に咲いた花も夏頃

にはピークを迎え、乾燥した空

気や高温などで苗も悪くなつて

きます。そこで、五月下旬から

種まきをして育てておいた苗と

植え替えをすると、一年中すば

らしい花を楽しむことができます。

● 種まきの方法

種まきで一番大切なことは、

土が無菌であることです。土の

中にカビやいろいろな病菌が入

っていると、芽が出てきてもす

ぐ倒れてしまう、苗立ち枯れ病

の原因になります。

また、肥料は、発芽を阻害す

るので入れないようにしましよ

う。

● 移植と苗づくり

移植をする時は、培養土を用



バーベナテネラ



マリーゴールド

います。土は、前年から作って
準備をしておく、移植した時
になじみやすく
なります。

植え方は、5

cm×5cmの正方

植えや、ビニ

ルポットを使う

のも良いでしよ

う。

三、花壇の土

良い土とは、

通气、排水が良

く、適度な保水

力があることで

す。このような

土にするために

は、花壇の土に
腐葉土やピート

肥料の三要素とその作用

三要素	主なはたらき	主な肥料
窒素 (ちっそ) N	植物の茎や葉の生育に必要で とくに生長の盛んな時期に多 く要し開花のころは余りいら ない。	硫酸魚 安素粕
磷酸 (りんさん) P	植物の茎や葉の生育にも必要 であるが、とくに開花や結実 の時期には多く必要。	過磷酸石灰、米ぬか、骨粉
加里 (かり) K	植物の生育に必要であるが、 りん酸肥料と同じく、開花や 結実のために多く必要。	草木灰 硫酸カリ

四、花壇の肥料

草花の場合、あぶらかすや骨
粉など、肥料の三要素がバラ
スよく混ざりあっているものが
良い肥料です。

モスなどを加える必要がありま
す。

また、ほとんどの草花は弱酸

性 (pH 6.0～6.5) です。酸性が強

いといろいろな障害が発生する

ので、酸性が強い時は、石灰な

どを加えて中和して下さい。

平成二年度花づくり講習会より

講師 旧山形県立赤湯園芸高校

鈴木常蔵先生

南陽クリーンセンターが完成しました

このほど、新しいし尿処理施設、置賜広域行政事務組合南陽クリーンセンターが完成し、四月一日から業務を開始しました。
 また、名称も露橋清掃事業所から「南陽クリーンセンター」に変更しました。
 新しい施設は、最新の技術を導入し、南陽市、高畠町、川西町のし尿を、一日85kℓ処理することができます。
 さらに、臭気、騒音、振動などの公害対策にも十分配慮しており、外観も、まわりの環境と調和をとり、今までのし尿処理のイメージを一新した近代的なデザインとなっています。



施設の概要

- 建設場所 南陽市露橋620番地
- 敷地面積 13,380.61㎡
- 処理能力 85kℓ/日
- 処理方式 高負荷脱窒素処理方式（一次処理後下水道放流）
- 総事業費 1,579,790,000円
- 工期 平成元年8月1日～平成3年3月20日
- 建物面積
 管理棟 645.32㎡
 （1階 312.35㎡・2階 332.97㎡）
 処理棟 1,828.73㎡
 （地下 119.40㎡・1階 947.16㎡・2階 762.17㎡）
 計量棟 53.16㎡
 車庫 100.45㎡
- 主な設備 受入貯留設備・主処理設備・汚泥処理設備・取排水設備
 脱臭設備・配管設備・電気計装設備・計量設備

環境トピックス

平成元年度に本組合ゴミ処理施設に搬入されたゴミの量は、五四、五〇二トです。そのうち、可燃物（燃えるゴミ）は、三九、一六七ト、不燃物（燃えないゴミ）は、一五、三三五トでした。

また、過去の搬入量の推移を見ると、昭和六十年から平成元年度までの五年間で、約八千ト、率にして一八割あまり増加しています。このうち、不燃物は、ほぼ横ばいの状況ですが可燃物は二七割（対六十年比）も増加しました。

しかし、このままのペースでゴミが増加していくと、将来、ゴミが社会活動に悪影響を及ぼすことが考えられるため、ゴミの排出量を減らすとともに、資源として再利用することが大切になってきました。

例えば、一般家庭における新聞一年分（七十誌）をゴミとして処理した増合、約千七百円の費用がかかります。こ

ゴミの減量化と再生利用

れを再生紙の原料として利用した場合、新たに原木から紙をつくるのに必要な一本半の立木（直径十四センチメートル高さ八メートル）を切らずに済み、限りある森林資源の保全につながります。

また、ジュース、ビール等のアルミ缶については、空き缶からアルミニウム地金を再生するのに要するエネルギーは、鉱石から造る場合の約三分で済み、空き缶一本を再生することによって四十ワットの電球を十一時間半点灯させるだけのエネルギーが節約できると言われています。

このように、ゴミの減量・再生利用の推進は、ゴミ処理費用の軽減あるいは最終処分場を長もちさせることなどのほか、省資源・省エネルギー、さらには環境保全の観点からも大切なことです。現在、ゴミとして出されているものを、もう一度見直し、再生できるものは積極的に再利用しましょう。



4月

米沢市
・上杉まつり(4/20~21)
松ヶ岬公園



川中島の合戦

期間中
米沢民踊流し(4/20)
市内目抜通り
武輪式(4/20) 松ヶ岬公園

上杉甲冑行列(4/20) 市内
川中島の合戦(4/20)

長井市
・桜まつり(中旬~下旬) 市内各所

・南朝日連峰山開き(下旬) 南陽市

・赤湯温泉桜まつり(4/20~21) 期間中 全国俳句大会(4/20~21) 烏帽子山公園

5月

長井市
・白つつじまつり(5月中旬~6月中旬) 白つつじ公園

・'91ヨーロッパ友好都市ingながい(4/20~21) TASPビル

高島町
・春の童話まつり(上旬~中旬) 浜田広介記念館

白鷹町
・やな開きまつり(4/20~21) やな公園

飯豊町
・全国白川ダム湖畔マラソン大会(4/20) 白川湖畔公園

・山菜園オープン(中旬) 中津川地区

小国町
・おぐにシヤクナゲまつり(4/20~21) 横根スキー場特設会場

・熊まつり(4/20) 飯豊梅花皮荘前

6月

長井市
・あやめまつり(6月下旬~7月上旬) あやめ公園

南陽市
・バラ園オープン(4/20~21) 双松公園

白鷹町
・朝日山開き(4/20) 鳥原山朝日岳神社

飯豊町
・いいでゆりまつり(4/20~21) どんでん平ゆり園

小国町
・わらび園まつり(4/20) 足中わらび園

・米沢花笠まつり(4/20) 松川河川敷

長井市
・はぎまつり(8月中旬~9月中旬) はぎ公園

南陽市
・観光ぶどう園オープン(4/20~21) 市内観光ぶどう園

高島町
・青竹ちようちんまつり(4/20~21) 町内目抜通り

川西町
・グリヤ園オープン(4/20~21) 川西町グリヤ園

白鷹町
・ふるさと森林公園夏まつり(4/20~21) 飯豊町産業課

飯豊町
・いいでまつり(上旬) 小国町商工観光課

小国町
・おぐに夏まつり(中旬) ●お問い合わせ先 米沢市観光物産課

0238 (22) 5111 (代)

長井市商工観光課 0238 (84) 2111 (代)

南陽市商工観光課 0238 (40) 3211 (代)

高島町商工観光課 0238 (52) 1111 (代)

川西町商工課 0238 (42) 2111 (代)

白鷹町商工労働課 0238 (85) 2111 (代)

飯豊町産業課 0238 (72) 2111 (代)

小国町商工観光課 0238 (62) 2260 (代)

7月

米沢市
・東北花火大会(4/20) 松川河川敷

南陽市
・熊野大社例大祭(4/20~21) 熊野大社

飯豊町
・飯豊連峰三町合同山開き(4/20~21)

置賜花の里づくり講演会

— NHK趣味の園芸セミナー —

NHK趣味の園芸の講師で、今年二月、東京ドームで開催された「世界らん展」で「日本大賞」を獲得した江尻光一氏を招いて「置賜花の里づくり講演会」を開催します。

と き 平成3年6月23日(日)

と ころ 長井市地場産業振興センター(TASPビル)

主 催 置賜広域行政事務組合

共 催 NHK山形放送局

花が大好き

うら ばら
長井市平野浦原地区



「花に対する愛情はどこにも負けない」という浦原地区（25世帯）は、地区長の菊地喜一さんを中心に、地区民全員で区内を走る二五〇〇メートルのフラワーロードを整備しています。

昭和五十六年四月から花いっぱい運動を始め、昭和五十九年から行われている「長井市花いっぱいコンクール」では、毎年最優秀賞に輝いています。さらに、昭和六十三年には、「全国花いっぱいコンクール山形県の部」でも最優秀賞に輝きました。

また、このフラワーロードの美しさは、花の咲いている期間は、あき缶の投げ捨てがなくなるなど、ドライバークのモラルの向上にも一役買っているとか。
しかし、その美しさの陰には、毎朝毎夕の水やりや雑草とりなど、たくさんの方の苦労があったそうです。

当面の目標は「べにばな国体」に向けてフラワーロードをさらに充実させたいということです。浦原公民館長の四釜栄一さんは「国体後もますます研究を重ね、花の種類を増やし、グレードアップしていきたい」と熱っぽく語ってくださいました。

広域広報は、今年度3回（4月、8月、1月）発行します。

表紙の写真は高島町まほろばの緑道です。